

# 受験にあたっての主な注意事項

## ■試験当日の注意事項

- 1 「受験票」を必ず携帯し、試験中は机の上に置いてください。
- 2 受験票に記載された試験時間割の「事前説明」開始時刻までに試験室に入室してください。
- 3 試験室では、「受験票」に記載の「個別番号」のシールが貼られた席に着いてください。
- 4 受験科目として出願登録していない科目は受験できません。万一登録していない科目を受験しても、その科目は採点されません。
- 5 試験当日試験場内では、本学担当者の指示に従ってください。
- 6 事前説明開始時刻から試験終了までは、試験室から退室できません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。
- 7 公募制推薦入試・一般入試前期A・一般入試後期で2科目を受験する際もしくは、一般入試前期B・一般入試前期Cで英語以外の2科目を受験する際、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し、各60分で解答を行います。第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間(10分)を加え、試験時間は130分とします。解答する科目の順番は自由です。なお、答案回収等を行うための時間中に問題冊子を開いたり、試験室から退室することはできません。トイレ等を理由にやむを得ず退出する場合でも一時退出を理由に解答開始時刻の繰り下げや試験時間の延長は認められません。
- 8 試験開始時刻までに遅刻した場合は、試験開始後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。なお、試験時間が130分となる場合(公募制推薦入試・一般入試前期A・一般入試後期で2科目を受験する際もしくは、一般入試前期B・一般入試前期Cで英語以外の2科目を受験する際)の遅刻者の試験室への入室限度は、第1解答科目試験開始後20分以内です。入室限度時刻までに入室しないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することはできません。

## ■試験時間中の注意事項

- 9 学力試験(基礎学力試験)はマークセンス方式のため、「HB」の鉛筆、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
- 10 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは鉛筆(和歌・格言等が印刷されているものは不可)・鉛筆削り(電動式を除く)・シャープペンシル(メモ用)・消しゴム・時計・眼鏡です。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて試験終了まで預かることがあります。
- 11 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には監督者から裏返して着用してもらうなどの指示することがあります。
- 12 携帯電話・スマートフォン・多機能時計は使用禁止です。(携帯電話等を時計代わりに使用することも禁止です)
- 13 アラームや時報機能のついた電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームや時報機能の設定を解除し、電源を切っておいてください。
- 14 事前説明時間中もしくは試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。本人確認のために、顔を上げるよう監督者が指示することや、マスクや眼鏡等を一時的に外すよう監督者が指示することがあります。
- 15 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することなどがあります。また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。

## ■その他の注意事項

- 16 受験票や合格通知等の氏名については、出願登録の際に入力された文字を使用します。
- 17 問題冊子は、試験室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。
- 18 試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、自転車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置はありません。